

登録コード	E8364400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究				担当教員	佐久川 憲児	
英文授業名	Graduation Study				副担当		
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				教育の専門家に求められる深い教養に根ざした数学的及び数学教育に関する使命感・倫理観の修得		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				教育活動を支え、実現する上で不可欠な代数学全般に関する専門的知識・技能の修得		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	各自が研究テーマを設定し、関連する先行研究を調べる方法を習得し、その研究を理解するための知識を得る。また、研究テーマに沿った研究方法を検討し、それを実践して何らかの成果を得る。その成果を論文としてのまとめ方、書き方、発表の仕方を経験する。						
(5)授業計画	各自の興味・関心に基づき、各自の卒業研究のテーマを選択し、研究課題を設定する。次に、研究を進めるにあたって必要となる文献等を収集し、熟読することを通じて、設定した研究課題の解決を試みる。最後に、研究の成果を卒業論文としてまとめる。上記のプロセスは一方的に進むものではなく、振り返って検討してみたり、一応の解決が得られた後により精緻化したりと、研究の進捗状況に応じて進むものである。						
(6)成績評価の方法	数学的及び数学教育に関する使命感・倫理観と代数学全般に関する専門的知識・技能の修得ができているかを、以下を総合して判定する。 ・研究の進め方、まとめ方、発表の内容（40％）、卒業論文（60％）。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可						
(7)成績評価の基準	研究内容をまとめた論文が書ければ「水準にある」。例題の提示, 参考文献の省略された証明を補うなどの工夫があれば「やや上にある」。さらに, 論文として体裁が整っており, 十分な工夫があれば「かなり上にある」。オリジナリティがあれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	各自選択した文献を読み進め, 質疑応答の準備をする。その回の内容で復習が必要な箇所は, 進行に応じて指示する。						
(9)履修上の注意	最初の講義で受講上の注意事項・約束を説明する。						
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	質問, または相談がありましたら, sakugawa_kenji@shinshu-u.ac.jp へ連絡をください。対応します。						
【教科書】	未定。						
【参考文献】	未定。						